

2017年度 第2回 特定非営利活動法人サロン 2002 理事会 議事録

【日時】2017年5月21日 17:00~20:00 ※終了後、同会場にて監査

【会場】筑波大学附属高校 3F 会議室

【出席】理事：中塚義美、安藤裕一、笹原勉、関谷綾子、本多克己、松下徹

監事：茅野英一

事務局：岸卓巨

オブザーバー：川名紀義

【欠席】理事：嶋崎雅規、竹中茂雄

事務局：春日大樹、遠山諒

【議事録作成者】岸卓巨

【議題】

1. 2016年度事業報告・決算
2. 2017年度事業計画・予算
3. 2017年度第1回総会に向けて

1. 2016年度事業報告・決算

【会員（正会員、賛助会員）、メンバーの確定】

- 前回の理事会では、総会までに会費の納入がない2年連続（2015年度・2016年度分）会費未納者について退会扱いとすることが合意された。事務局より前回の理事会での合意を受けて、会費未納者に対して催促のメールを出したことが報告された。
- 安藤理事より笹原翼氏より退会希望があったことが報告された。
- 事務局より安藤理事に会員・メンバーリストの更新版を共有することになった。

【年次報告書（月例会報告等含む）】

- 誤字を修正し、題名から（案）を取り、PDF版をホームページに掲載することが確認された。

【公開シンポジウム報告書】

- 事務局より5月初旬の連休明けに報告書を甲文堂より発送済みであることが報告された。

【U-18 フットサル関連事業】

- 2016年度の日本スポーツ振興センターからの助成金が678,000円で確定し、5月末までには振り込まれることが本多理事より報告された。

【2016年度事業報告・決算】

- 茅野監事より総会提出用の事業報告書内「事業費の金額」の欄は事業の規模が分かるように、事業ごとに分けて支出額を記載してはどうかと提案があったが、東京都からは記載が求められていないことから総会にて口頭で報告できるように準備しておくことで合意された。
- 事業報告書の記載内容について修正点が確認された。
- 会費の貸し倒れについて、決算書においては「雑損失」として計上することが確認された。また、「雑損失」の項目は活動予算書には設けず、別途「予備費」を計上することが合意された。
- 活動計算書の「後援料」を「後援申請料」に変更することが合意された。
- 茅野監事より、役員からの借入金は組織運営上望ましくないため、今後100万円以上の基金を持つ努力をする必要があることが述べられた。年20万円ずつくらい積み立てられるように事業を

考えていく必要があり、その方法として茅野監事よりシンポジウム報告書に広告の掲載を募集することが提案された。本多理事からはU18フットサルリーグチャンピオンシップの大会パンフには、toto申請上24万円まで広告費を集められることが説明された。松下理事より補助金に頼った運営は組織の持続性の面でリスクがあることが述べられた。

- 事務局より2016年度は理事の意向により理事会出席に伴う交通費が計上されていないことが報告された。2017年度は理事・事務局員の理事会出席時に関西25,000円、静岡11,000円、1都3県1,000円を定額で現金にて支払い、その場で出欠表に記録することが合意された。現行の旅費交通費規定に別表4をつける形で修正する。関谷理事が規定の修正案を作成し、理事会にて検討する。規定の修正は総会審議事項ではない。
- 人件費・謝金・通信連絡費等支払い規定も看護師、審判などに謝礼を支払えるように見直すことが合意された。事務局長の労務に対しては給料ではなく通信連絡費として支払い月額10,000円で規定に盛り込むことが合意された。理事長の通信連絡費は月額2,500円のままとする。事務局員は現行通り、時給1,000円を人件費として支払う。
- 茅野監事より出金伝票を作ることが提案されたが、作業が煩雑になることから事務局が支出する際にメールで理事長の承認を得る方向で合意された。事務局より理事長に承認を得る際は、現金出納帳(excelファイル)をメールに添付する。

2. 2017年度事業計画・予算

【会員(正会員、賛助会員)、メンバーの確定】

- 安藤理事より会員名簿の提出状況が報告された。6月10日の総会時点で会員・メンバーを確定し、名簿を作成する。

【公開シンポジウム】

- 中塚理事長より2017年8月27日(日)に「桐陰会館」が利用できることが報告された。
- サロン2002会員・メンバーから広く運営スタッフやアイデアを募集することが合意された。中塚理事長よりメーリングリストで発信する。5月25日の月例会や6月10日の総会後の意見交換会でも内容を検討する。
- 報告書発送先の検討(300部を予算計上)、講演者決定、後援・協力団体募集、FBなどでの案内を進め、6月末には案内チラシを作成して、告知を開始することが合意された。
- 「この20年間のあゆみとこれから」について、「正史」ではなく「外史・外伝」として、サロンらしい切り口で取り上げていくという方向性が提案された。進行方法について、一人のコーディネーターと3~4名の演者で進めていく「いつもの形式」に加えて、第1部、第2部に分けて登壇する人を入れ替える形も提案された。
- オブザーバーの川名氏からはスタジアムやサポーターなどに関して、サッカーとそれ以外のスポーツ(プロ野球など)の歩みの違いなどについても聞いてみたいとの意見が出された。

【フットサル関係】

- 本多理事よりU-18フットサルリーグチャンピオンズカップ2018は1月7日、8日に実施予定であることが報告された。名古屋のオーシャンアリーナを使用予定であるが、他に2日間安く利用できる会場があれば今後変更の可能性があると述べられた。

【その他事業計画・予算】

- 年度途中の事業承認手続きについては、適宜臨時総会を実施することが確認された。茅野理事より、公的団体の事業では、民間企業と異なり予算を超えて事業を行うことはできないことが説明された。

- 総会での議決対象は予算の算出内訳が明記された理事会資料「活動予算書」の形式ではなく、東京都への提出書類の形式にすることが確認された。
- 管理費諸雑費とは別に予備費を 10 万円程度（税引後当期正味財産増減額を 0 円にする程度）設けることが合意された。

3. 2017 年度第 1 回総会に向けて

- 松下理事より、税務申告の松下理事への委任について総会に提議することが提案されたが、業務執行の範囲として総会決議事項ではなく、理事会決議事項とすることが合意された。
- 5 月 29 日目標で総会召集通知を送れるようにすることを決定した。
- 関谷理事の提案により理事会用メーリングリストを作成することを決定した。

以上